畜産あきた

第74号
2026
10月

秋期鹿角家畜市場開設
年に一度の短角牛市場





10月20日、鹿角家畜市場において短角牛30頭、褐毛牛７頭の上場でセリ市が開催されました。春に産まれた子牛は、５月から10月まで母牛と山に放牧され、母乳や放牧地の草を食べて成長しました。飼い主のいうことを聞かずに突然走り出したり、突っ張って歩かなくなる光景が見られるのもこの市場ならでは。平均取引価格は、短角牛で424千円（税込）と、前年より84千円高という結果になりました。

また同時に、鹿角地域の肉用牛の品質を競う、鹿角畜産共進会が開催され、地域の特産であるかづの牛（日本短角種）、褐毛和種の審査が行われ短角種の優等賞として柴平の豊田憲司さんの「あげは」号が選出されました。

●令和8年10月30日発行　第74号　【発行】秋田県畜産農業協同組合　【編集】総務部

第24回かづの畜産まつり開催される！
秋晴れのもと多くの人がかづの牛を買い求める！！

秋の恒例イベント「かづの畜産まつり」が、鹿角家畜市場にて開催されました。

市内外から秋晴れのなか大変多くの家族連れが訪れ、バーベキュー用や、これから寒くなる季節すき焼き用の肉、ホルモンなどをお買い求めておりました。

この日は特別価格で「かづの牛」が販売されるということで、長い行列ができておりました。今年は、例年より多くの方々がご購買に訪れ、用意した３頭半分のお肉が、お昼前でほぼ完売しました。ご購買した皆様は、無料で設置したバーベキュースペースでお肉や野菜を思い思いに焼く光景が見られました。

このほか、地元農畜産物の各種が展示即売され、多くの来場者がお買い求めており、また、県産牛乳の試飲コーナー、めだかブース、かづの牛堆肥や舞茸菌床プレゼントが好評を得ていたほか、かづの牛の革を使った革製品の製作が体験できるコーナーもあり、盛況を博しておりました。

イベントコーナーでは、何でもオークションに地元産の米や野菜、それぞれ想いの品々が出品され盛り上がりを見せたほか、かづの牛が貰える動物〇×クイズ、じゃんけん大会に多くの参加者が参加、挑戦しておりました。

また、自衛隊による自動車展示、子供用の制服試着などを体験する姿が見受けられました。



お出かけ日和のお天気でした



吟味してお肉を選ばれておりました



かづの牛串も飛ぶように売れておりました



定番となった BBQ コーナー

食肉事業所より

第18回肥育経産和牛枝肉勉強会

９月７日から９月９日にかけて、秋田県食肉流通公社において「第18回肥育経産和牛枝肉勉強会」が開催されました。

審査の結果、マーケットニーズ賞は今回該当なしでした。

〈今後の予定〉

11月12日　第67回秋田錦牛銘柄確立共励会
11月26日　秋田おばこ地区和牛枝肉勉強会
12月　2日　第14回中央地区肉用牛生産部会枝肉研究会
1月14日　第19回肥育経産和牛枝肉勉強会
2月　4日　第52回秋田県畜産農協枝肉研究会



畜産トピックス

～冬の子牛の管理～

子牛は、体重当たりの体表面積が大きいため外気に体温を奪われやすく、さらに第一胃が発達途中で発酵熱が少ないことから適温域が高く、成牛よりも寒さに弱いです（表1）。このため、子牛の寒冷時の飼養管理は健康状態や発育に直結します。そこで、子牛が寒い冬を乗り越えるための対応策について紹介します。

表1　肉用牛の適温域と生産環境限界度（℃）

	適温域（℃）	生産環境限界（℃）	
		低温	高温
哺乳子牛	13～25	5	32
育成牛	4～20	-10	32
繁殖牛	10～15	-10	30
肥育牛	15～25	5	30

適温域：代謝熱生産量が最も少なくて済む温度
生産環境限界温度：生産性に及ぼす温度
※鹿児島県生産技術情報 HP から引用

▌子牛の寒冷対策

⑴ 床の乾燥・無風環境の確保

・子牛の体感温度を上げるには、床の乾燥、無風環境を確保することが大切です。
・敷料は夏場の1.5倍から２倍量に敷き、切り替え頻度を上げ、底冷えを防ぎましょう。また、排泄物は適切に取り除き、敷料の追加又は交換により床表面を乾燥した状態に保ちましょう。
・風が体に当たると体表面から熱が奪われるため、カーテンや窓の開閉、隙間風に注意し、子牛に直接風が当たらないように管理しましょう。

⑵ 環境温度を上げる

・カーボンヒーターやコルツヒーターで子牛を保温する方法や温風ボイラーで牛舎内全体を温める方法があります。
・使用する機器によって保温範囲が異なり、最適な設置高さも異なるため、必ず取扱説明書を確認し設置しましょう。



図1　カーボンヒーターの設置

⑶ カーフジャケットやネックウォーマーの着用

・生後～３週齢の牛や寒波で気温が急降下する時などには、子牛にジャケット等を着用しましょう。
・ただし、ジャケット着用時は体が隠れるため、痩せに気づきにくくなりますので、餌の食いや体の状態を適宜確認しましょう。
・ジャケットが汗や糞尿で濡れたままの場合、体温低下の原因となるため必ず乾燥させてから使用しましょう。
・ネックウォーマーで首を温めることも有効です。頸部は筋肉が少なく、薄い皮膚の下を太い血管が通っているため血管が冷えやすい箇所です。そのため、頸部を温めることで全身に低温の血液が送られることを防ぎます。

⑷ 換気

・牛舎を閉め切ると、湿気、ホコリ、アンモニアガスなどが牛舎内にこもります。高濃度のアンモニアに暴露されると、呼吸器粘膜が損傷を受け、病原体に対する防御機能が減少し、呼吸器病の発生に繋がります。また、寒冷ストレスに晒されている子牛は免疫力の低下を起こしやすく、病気を発生させないためには換気が重要となります。
・日中の暖かい時間に換気をすることや給気口を上部に調整したり、シートや板を設置したりして、子牛に直接風が当たらないようにしましょう。

▌栄養管理面での対策

⑴ 新生子牛

季節に関わらず、子牛には生後速やかに初乳を飲ませることが重要です。分娩後６時間以内に初乳の摂取が確認できない場合は市販の初乳製剤を哺乳瓶やミルクチューブで給与しましょう。

ミルクの適切な温度は40 ～ 42℃であり、寒気の影響によって温度が下がりやすいためミルクの温度に注意が必要です。このため、温度計を用いてミルクの温度を確認し、常に適温で給与できるように管理しましょう。

⑵ 哺育牛

子牛は、気温の低下に伴い体温維持のためのエネルギー要求量が増加します（表2）。特に、出生後～３週齢の子牛は他の週齢の子牛と比べて寒さに弱く、エネルギー供給量を多くしなければその後の発育にも影響します。環境温度が５℃の場合、エネルギー要求量は環境温度が20℃の時よりも40％多くなり、１日の哺乳量が５Ｌでは約２Ｌの増給が必要になります。ただし、急激な増給は下痢や鼓張症の原因になるため、子牛の状態をよく観察しながら、哺乳回数を増やす、あるいは日ごとに少しずつ増給するなどして、段階的に量を増やしていきましょう。

表２　３週齢までの環境温度別エネルギー要求量増加率

環境温度（℃）	エネルギー要求量増加率（%）
20℃	0
15℃	13
10℃	27
5℃	40
0℃	54
-5℃	68

※釧路農業普及センターHPから引用

⑶ 育成牛

寒冷環境下では、適温時に比べ、エネルギー要求量は増加します（表3）。このため、飼料給与量も気温の低下に応じて増給する必要があります。飼料増給が難しい場合は高カロリーの飼料を給与しましょう。

表３　肉用牛の温度変化に伴う飼料摂食増加量

	適温時	15 ～ 5℃	5 ～ -5℃	-5 ～ -15℃	-15℃以下
飼料摂食増加量	-	2 ～ 5%	3 ～ 8%	5 ～ 10%	8 ～ 25%

※日本飼養標準肉用牛（2022年）

▌飲水面での対策

冬場の水温低下は、飲水量の減少を引き起こします。飲水量の減少は、採食量の減少や尿石症の発生原因になるため、飲水量の確保は重要です。また、哺乳期の飲水量減少は人工乳摂取量の減少に繋がり、円滑な離乳が難しくなります。この為、ヒーター付き給水器や温水器の使用などの対策を行い、飲水量を確保しましょう。

本県でもここ数年は、暖冬となっていますが冬場の対策をしっかりと行い子牛市場で好まれる牛づくりを目指しましょう。

改良のおともに。
肉用牛ゲノミック評価＆G-Eva（ジーバ）
（Web情報提供サービス）
当団ゲノミック評価ご利用の方は
G-Evaを無料でご利用いただけます！
家畜改良事業団 盛岡種雄牛センター

秋田県畜産会館の推奨品
北国の風土に育つ 秋田錦牛
入居テナント募集中
一般社団法人秋田県畜産会館
〒010-0001 秋田市中通6丁目7番9号
TEL.018-834-1909 FAX.018-831-2641


支所だより

◇地方特定品種全国推進会議及び現地研修会の開催について

９月30日、10月１日に地方特定品種（褐毛和種、日本短角種、無角和種）の全国推進会議及び現地研修会が（一社）全国肉用牛振興基金協会の主催のもと、秋田県鹿角市パークホテル、鹿角支所、熊取平放牧場を会場として開催されました。北海道から長崎県まで８県45名の参加となり、各道県による地方特定品種の情勢、課題報告と、将来に向けての展望について議論が行われました。秋田県の情勢報告について、湊新吾支所長より「かづの牛GI登録後のブランド展開」の演題による発表があり、地理的表示（GI）登録後の取組、課題についての発表と意見交換がありました。また現地研修会として鹿角支所繁殖肥育センター、熊取平放牧場の視察研修会があり、放牧場では、しょうゆ粕によって集合する放牧牛と牧場の光景を参加者で観察しました。



鹿角パークホテルにて


熊取平放牧場での現地研修会

◇鹿角市畜産おためし地域おこし協力隊の開催について

９月30日から３日間、鹿角市農業振興課による畜産おためし地域おこし協力隊に応募があった２名による職場体験が行われました。今回の参加者は、北海道在住の会社員と東京在住の大学生で、公共牧野の牧場看視人、食肉店の加工品作りの作業体験と同日に開催された地方特定品種の会議に参加して頂きました。会社員の方は職場で乳牛の搾乳をしており、肉牛との違いについて学んでいました。大学生は、牛に触れ合うことと食肉店の作業が初めてで、全てにおいて感動していました。今回のおためしツアーを通じて、来年度の地域おこし協力隊として参加して頂くよう、現鹿角市地域おこし協力隊、移住サポート団体に協力してもらい、継続したサポートをして頂くことになりました。


放牧場にてしょうゆ粕で餌付け


食肉店でのフランク串作り

◆行事予定

11月14、15日	食の交流まつり（葛飾区四つ木小学校）
11月中旬～12月下旬	お歳暮ギフトセール
12月下旬	かづの牛歳末セール

役員会だより

第２回理事会

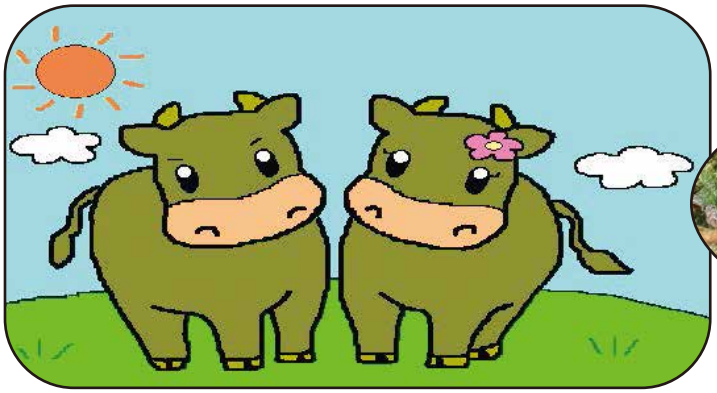
開催日時：令和８年９月18日（金）
場　　所：秋田県畜産会館役員室



報告事項１　「事業進捗状況について」
① 主要処理事項及び今後の予定等について
② 各部門の事業損益と状況説明について

議案第１号　「第111回鹿角畜産共進会・第24回かづの畜産まつりについて」

全畜連　子牛育成用　若　葉





★骨格づくり、腹づくりに最適です。

特長

- 良質のタンパク源を豊富に配合しています。
- 子牛の骨格づくり 、胃袋づくりに最適です。
- 良質の粗飼料(ヘイキューブ・ビートパルプ・デハイP)がたくさん入っています。
  尿結石等を防ぎ、消化機能を高めます。
- 子牛には日光浴や運動を十分させましょう。

給与方法

- 生後3ヵ月頃より与えて下さい。
- 原則として制限給餌とし 、常に新鮮な水を飲めるようにして下さい。

わたしたちは、秋田錦牛 かづの牛 を応援します。

伊藤ハム米久ホールディングス株式会社
伊藤ハムミート販売東株式会社

秋田県たばこ耕作組合

秋田市東通一丁目１番23号
TEL ０１８－８３２－６６３１

総務課よりおしらせ

第２回理事会



中央・南部地区肉用牛生産部会 合同視察研修



秋田県和牛改良共進会 開会式



秋田県和牛改良共進会 審査



秋田県和牛改良共進会 序列決定



秋田県和牛改良共進会



全共肉用牛の部巡回



地方特定品種全国推進会議 鹿角開催







秋田県畜産農業協同組合
鹿角支所

かづの牛 工房

日本短角牛

KAZUNO

鹿角市花輪字苗提野1番地2
TEL0186-25-3311
FAX0186-25-3312

AMS Abe 株式会社アムス阿部

農業資材・パイプハウス・肥料・農薬・種苗
〒018-5201 秋田県鹿角市花輪字上花輪295番地
☎0186-22-1155 (代)
FAX 0186-22-1156

あきた総合家畜市場

令和8年　10月期子牛セリ市結果【黒毛和種】

市場名	性別	今回(令和８年10月)		前回(令和８年９月)			前年同期(令和７年10月)		
		頭数	平均価格	頭数	平均価格	増減	頭数	平均価格	増減
あきた	めす	94	780,368	103	803,491	△ 23,123	122	585,561	194,807
総合家	去勢	153	869,158	146	927,684	△ 58,526	184	709,333	159,825
畜市場	計	247	835,368	249	876,311	△ 40,943	306	659,986	175,382

（税込み）

【令和8年10月期子牛】

去勢高価格順

	種雄牛	２代祖	３代祖	DG	取引価格
1	福之姫	北美津久	美国桜	1.46	993,000
2	銀恣	美国桜	安福久	1.50	990,000
3	北美津久	福之姫	百合白清２	1.29	983,000
4	暁之藤	安福久	平茂勝	1.35	980,000
5	福勝鶴	安福久	第１花国	1.34	968,000

（税別）

雌高価格順

	種雄牛	２代祖	３代祖	DG	取引価格
1	暁之藤	隆之国	安福久	1.22	867,000
2	福之鶴	勝忠平	安福久	0.93	853,000
3	北美津久	福之姫	諒太郎	1.40	842,000
4	福之鶴	百合茂	安福久	1.21	829,000
5	北美津久	華春福	勝忠平	1.33	809,000

（税別）

行事予定

11月
- 12日　第67回秋田錦牛銘柄確立共励会
- 13日　第２回監事会
- 17日　あきた総合家畜市場開催日
- 27日　第３回理事会

12月
- 2日　中央地区肉用牛生産部会枝肉研究会
- 4日　南部地区肉用牛生産部会 講習会
- 15日　あきた総合家畜市場開催日

※畜産あきたは、年４回（１・４・７・10月）の発行を予定しております。

全畜連　全国畜産農業協同組合連合会

主な配合飼料名
・黒毛和種・・・マイルド和牛、和牛肥育用
・日本短角種・・かづの令和スペシャル

全畜連　配合飼料シリーズ
・哺育育成用「全畜スターター」・・・市場性の高い子牛作り
・子牛育成用「　若　葉　」・・・骨格づくり、腹作りに最適
・和牛繁殖用「　み　ど　り　」・・・脂肪の蓄積を抑えた配合設計

※上記以外にも、粗飼料（牧草など）各種飼料を取り揃えております。

ご用命・お問合せは
全国畜産農業協同組合連合会　東北支所
宮城県仙台市泉区大沢2丁目12-4 仙台泉インターシティ3F
TEL：022−290−6376　FAX：022−290−6378
※肉用牛共同出荷（販売）も随時、執り行っております。





秋田県畜産農業協同組合
ミートショップ
ちくれん
AM9:00〜PM5:45
（土曜日は5:00まで営業）



北国の風土に育つ
秋田錦牛

秋田県中通六丁目7番9号
TEL018-832-0714
FAX018-832-0688
nisiki-g@cna.ne.jp